

知立市議会立志会議員団の地元国会議員への要望活動

平成30年3月31日（土）

立志会所属知立市議会議員

風間 勝治

私は、平成30年3月29日（木）PM1:30から、知立市議会立志会のメンバー6人とともに、地元国会議員への要望活動に参加しました。東京都の第2衆議院会館におきまして大見正衆議院議員に、及び参議院会館におきまして、酒井やすゆき参議院議員に対し、次の3点の要望活動を実施しました。その概要をここに報告致します。

要望事項1

平成30年度税制改正において地方消費税の清算基準の見直しが行われ、地方消費税の税収が、より適切に最終消費地に帰属されることを期待するところである。現在、都道府県が市町村に交付すべき地方消費税交付金（一般分）について、交付すべき額の2分の1の額を人口で、2分の1の額を従業員数で按分することとされているが、従業員数による按分を廃止し、全額を人口で按分するように見直しをすること。また、従業員数による按分を廃止することができない場合、従業員数による按分の割合を低くし、人口により按分する額の見直しを図ること。

要望事項2

名鉄知立駅周辺整備事業の的確な推進に向け3点の要望。

1. 知立駅付近連続立体交差事業の積極的な支援と所要の予算確保すること。
2. 知立駅周辺区画整理事業及び知立駅北地区市街地再開発事業等を積極的に支援し、所要の予算を確保すること。
3. 連続立体交差事業の計画的かつ円滑な実施に向け、より良い予算制度を検討し、安定的な予算枠を確保すること。

要望事項3

知立市では、平成25年度に知立市学校施設整備計画を策定し、26年度より学校施設環境改善交付金の交付を受けて大規模改造工事（老朽）を実施している。平成32年度、33年度には、知立市立知立小学校の長寿命化改良工事を予定しており、また、安心して学べる

学校施設として、大規模改造工事(老朽)や長寿命化改良工事を継続的に実施するためには、学校施設環境改善交付金の交付が不可欠となるため、年度当初から計画通りに事業を着実に進めることができるよう同交付金の的確・確実な交付を求めるものである。

◎尚、大見正衆議院議員との要望、協議を終え、その他色々な財源確保や政策などの意見交換をしている最中に、財務省から最新の情報提供がありました。平成30年度の連続立体交差事業の、国から愛知県に対しての予算が、総額36億3,700万円の内示が確定の情報提供があり、知立市の当初予算の見込額の概ね96%が確定したわけであり、大変喜ばしいことであり、再三にわたる国・県への財源確保に向けた議員交渉の効果の現れとして、手応えを感じたところであります。

私は、現況の知立市の厳しい財政状況を鑑み、今後とも駅周辺整備事業の的確な事業推進を図っていくために、国・県に対して、積極的に財源獲得に向け要望・陳情活動を実施していく決意であります。

以上で、私の陳情・要望活動の概要報告と致します。